

## 第 8 回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容

小池 信也

本日は、私にとって大変な賞を受賞させていただき大変に光栄です。ブラジルから参りました小池信也と申します。

ブラジルに渡りすでに 20 年が経過しました。私は、サンパウロで 2 軒の和食店を経営しております。2007 年に、ブラジル日本文化交流福祉協会の和食普及委員会の委員長を引き受け、より一層日本との和食を通じての交流ができるようになり、ブラジル一般大衆ならびに和食業界、学生に向けた和食紹介事業を展開させて頂きました。

海外での和食普及については、各国によって事情が異なると理解していますが、和食普及の背景となる日本文化の伝達、広くわかりやすい味覚や技術の基本、正しい食材の取り扱いを紹介し、日本食のファンを獲得していきたいと思っています。これを基盤に、日本産品の優れた品質をブラジルの大衆に伝達していきたいと思っています。

2008 年にさかのぼり、私が初めて手掛けさせて頂いた事業は精進料理紹介事業でした。いきなりテーマとしてはハードルが高かったのですが、カトリック教徒の多い国で宗教的な理解を超え、マイクロビオチコという観点と健康志向、そして日本食の歴史的な背景を伝えるには非常に良いテーマとなりました。胡麻すりの実演や蕎麦打ちの実演は、ブラジル人にとって非常に興味深い内容でした。翌年も続けてこの事業を行い、アマゾンの日系移民の街まで出掛けました。

次に実現させて頂いた事業は「京料理紹介事業」でした。初めて日本料理アカデミーの了承を得て、会員の高橋拓児さん、高橋義弘さんに来伯頂き、日本料理が凝縮されている京料理を紹介させて頂きました。大学でのレクチャーデモや、ブラジル有識者や料理ジャーナリストを迎えてのプレゼンテーション夕食会を実施させて頂き、日本料理の奥深さに触れて頂きました。2013 年には再度御両人に来伯頂き、チャリティー事業まで実施しました。

今年度はブラジルワールドカップに関連し、リオデジャネイロで開催された「ジャパンプレゼンテーション事業」の一環であるリオ万博内ジャパンパビリオンでの和食ならびに日本産品紹介事業への参加、コシノジュンコ先生との食とファッションのコラボレーション事業、サンパウロでは「nakata.net cafe 2014@サンパウロ」の運営受託をさせて頂き、

ワールドカップ期間中において多数の来場者に和食と日本酒の紹介を展開させていただきました。

さらに、安倍総理来伯時に実施された和食紹介事業では、現地サイドのコーディネーターならびに講演をさせて頂き、世界のトップシェフのアレックス・アタラ、日本を代表する寿司職人の風戸正義氏ともに日本産品を使った料理の提案をさせていただきました。

その他私が今までやってきたことは、東日本震災大災時の SOS ジャパン事業への参加、震災 1 周年復興支援事業、またエキスポテル内農林水産省の日本産品紹介講演会コーディネーター、日本における JETRO 主催水産セミナーでの講演、海外日系移民大会での海外における和食の進化の講演、ナゴヤインターナショナルスシスクールにおける駐日ブラジル人を対象にしたワークショップの実施等を行い、和食普及活動をブラジルと日本両者の視点に立って実施してきました。

今後の視点として、裾野の広がったブラジルの和食市場に、よりわかりやすく正しい和食材の取り扱いや技術、作法の普及活動を実施していくとともに、人材の育成・向上を目指した、日本的な交流を推進していきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。